

すこやかだより

令和 6 年 度
第 9 号
京都府立舞鶴支援学校



感染症が流行する時期です。「早寝・早起き・朝ごはん・感染症予防」を心掛けましょう。

インフルエンザに注意



38 度以上の熱



関節痛・筋肉痛



全身の倦怠感



せきや鼻水



寒気

もしインフルエンザにかかったら

インフルエンザにかかった場合の出席停止期間は、「発症した後5日を経過し、かつ、解熱したあと2日を経過するまで」となっています。「発症」とは発熱を目安とし、日数を数える場合は、発熱等のインフルエンザ症状が出た日は含まず、翌日を1日目と数えます。【解熱・熱が下がり、平熱にもどったこと】



しっかり休む



熱が下がって
すぐに登校は
NG

例	発症日	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目
発症後 2日目に解熱した場合	熱 	熱 	解熱 	解熱後 1日目 	解熱後 2日目 	発症後 5日以内のため出席停止 	登校可能 		
発症後 3日目に解熱した場合	熱 	熱 	熱 	解熱 	解熱後 1日目 	解熱後 2日目 	登校可能 		
発症後 4日目に解熱した場合	熱 	熱 	熱 	熱 	解熱 	解熱後 1日目 	解熱後 2日目 	登校可能 	

太枠の期間は、出席停止期間です

感染予防

ウイルスはどこから来るの？

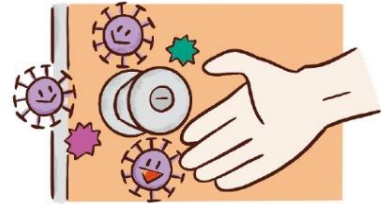
風邪などの原因になるウイルスは、みなさんの体に3つの方法で侵入してきます。

空気感染



窓を閉め切った部屋の空気中にはウイルスがたくさん漂っています。その空気を吸い込むと体にウイルスが入ってきます。

接触感染



ドアノブなどたくさんの人が使う場所についていることが多いです。そこを触った手で口や鼻などを触ると体に入ってきます。

飛沫感染



感染した人がせきなどをしたとき、唾と一緒にウイルスが飛び散ります。それを他の人が吸い込むと体に入ってきます。

ウイルスを
寄せ付けないためには、
換気と手洗い・うがいが大切。
こまめに行って、ウイルスを
追い払いましょう。

丁寧な健康観察で早期発見・早期対応

日々の健康観察と検温の御協力、感染症予防対策をありがとうございます。
インフルエンザや風邪など流行しやすい時期です。発熱していなくても風邪症状や「いつもと様子が違うな」と感じられた際は、無理をせず休養をお勧めします。

熱や症状があるとき・休養を要するときには、症状の悪化も心配されるため学校で症状の経過をみることは控え、早めのお迎えをお願いしています。
御理解と御協力をよろしくお願いします。

